

病理学

[講義] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

疾患の原因や成り立ちを学習するとともに、2年次以降の授業で必要な主な疾患の特徴を学ぶ。

【学修目標】

病気について総合的に理解するとともに、全身の各臓器に共通してみられる基本的病変とその要因、病態について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	病理学序論・細胞の異常	・病理学とはなにか、病理診断の実際、疾患の病因について理解する。 ・細胞・組織の障害とその修復過程を病理学的に理解する。	濱田
2	先天異常	先天異常と遺伝子異常を病理学的に理解する。	濱田
3	循環障害	循環障害について病理学的に理解する。	濱田
4	代謝異常	代謝障害について病理学的に理解する。	濱田
5	炎症	炎症の成り立ちと役割について病理学的に理解する。	濱田
6	免疫異常	免疫とその異常について病理学的に理解する。	濱田
7	腫瘍 1	発がん機構とその要因について理解する。	濱田
8	腫瘍 2	がんの悪性化機構について理解する。	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

なるほどなっとく！病理学・小林正伸・南山堂

【備考】

Google classroomにて、講義資料等を提示する。

【学修の準備】

次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと（30分）。

講義終了後は、講義資料を見直すとともに、復習問題がある場合には次回までに解いておくこと（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している